

JCN「第5回現地会議in岩手」

— 復興のこれまで、いま、これから —

釜石市社協生活ご安心センター

本日のテーマ

今後の支援活動で必要とされる
「人材」とそれを活用する
「仕組み」について「現地社協」
の立場で考える

お話しする3つの話題

- 1 今後必要とされる支援活動について
- 2 支援を有効かつ円滑に行うための工夫について
- 3 他セクターとの連携・協働について

話題 1

これから必要とされる支援活動

～その1～

個別支援＝

自立度に応じた生活支援系の活動

自立度に応じた生活支援系の活動とは？

自立度 = <高い方に必要な支援活動

- ◆ 自己実現を目指すための支援活動
具体例 = 趣味、創作、健康、介護予防、余暇、仲間づくり、安全、
- ◆ 地域資源となる人財化へ向けて
具体例 = 地域リーダー、自治会、サークル

自立度に応じた生活支援系の活動とは？

自立度 = <低い方に必要な支援活動

- ◆ 生活課題の解消を目指すための支援活動
具体例 = 健康、介護、買い物、通院
孤立（閉じこもり）防止、社会参加
物的支援、栄養補給、
- ◆ 制度サービスにない支援づくり
隙間、持続可能な仕組みづくりへ

話題 1

これから必要とされる支援活動

～その2～

地域コミュニティの維持・再生＝

関わり合いと支え合いの関係づくり

地域コミュニティ再生の支援活動とは

人々が出会い、触れ合い、関わりあえるきっかけとなる・・・

◆「場」の設定と企画

◆「メニュー」の企画と開発

◆「合意形成への促し」

話題2

支援を有効かつ円滑に行うための工夫について

- 1 連携へ向けた前提(条件)の確認
- 2 情報の整理、共有、発信(提供)
- 3 相乗効果を得られる工夫

話題3

他セクターとの連携・協働について

- 1 地元社協機能、支援団体機能の理解
- 2 補完するのではなく、互いに高め合う手法
- 3 より豊かな生活とは・・・支援とは・・・